

【第12回】尼崎市新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 議事録

日 時：令和2年7月17日(金) 午後3時～4時

場 所：web方式による会議

1 県の対処方針の変更を受けた本市の取組みについて

(1) 新型コロナウイルス感染症の市内発生状況について（資料1）

市長：まずは、尼崎市内の発生状況を情報共有したいと思う。

ー新型コロナウイルス対策室より資料1（今週の週報案、国基準の達成状況等）の報告ー

市長：大阪が既に黄色信号である状況から、フェーズが変わりつつあるというのは皆様が感じていることかと思う。

最近はや若い年代の感染者や無症状・軽症の方も多く、退院も早いということだが、退院の基準（PCR検査で2回連続陰性判定）は今も変わらないか？

新型コロナウイルス対策室：退院の基準に変更があった。（有症状者の場合）発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合、PCR検査を受けていなくても退院可能である。また、病状軽快後、24時間経過した後、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR検査で陰性を確認できた場合も、退院可能である。

前者の場合、厳密には陽性か陰性かは分からないが、退院後は出勤・登校が可能である。

市長：学校であるとか、公的な機関で感染が確認される状況になってきている。以前は2週間出席停止などの措置が学校園で取られていたが、基準が変わっている場合もあるのでしっかりと連携して対応をお願いしたい。

(2) 県対処方針の主な変更内容について（資料2）

市長：この会議と同時刻に県の対策会議も開かれており、対処方針が変更されるかもしれないが、事務局より説明をお願いします。

ー事務局より資料2「県の対処方針（7月9日改定）の主な変更内容について」の報告ー

市長：このあとの資料3でも確認するが、外出の自粛要請やイベント開催の注意点など、

頻繁に改正しないものについては、すぐに変更を加えないといけない表現を使わないほうが良いと思う。

高齢者、障害者の施設の職員派遣等の仕組みについて記載があるが、本市の状況はどうか？

健康福祉局長：兵庫県が高齢者施設で応援しあうスキームを作ろうということで、特養、老健など47施設が手を挙げていることを兵庫県のホームページで確認した。障害福祉サービス事業所等については、兵庫県は市町を通じて行おうとしており、現在、市内では20か所ほど手を挙げている。

市長：本市も含めて、兵庫県が進めている、ということか？

健康福祉局長：高齢者施設等については、兵庫県が県内の特養、養護、入所施設等を取り仕切り、兵庫県が兵庫県の団体と調整をする。障害福祉サービスについては、兵庫県が市町に投げかけ、市町がリストアップし、団体と調整することとなっている。

(3) 本市の取組みについて（資料3）

市長：しばらくぶりの更新となる。

—資料3「新型コロナウイルス感染症に係る尼崎市の取組み状況」の赤字部分（変更箇所）や兵庫県のコロナ追跡システムの活用を中心に情報共有—

市長：新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアルが作成・公表されたが、各学校で取組みは進んだのか？

教育次長：各学校の構造に応じた想定のもと、ゾーニングを完了している。

危機管理安全局長：各学校で避難所開設時に必要な衛生用品類も搬入完了している。

市長：特別定額給付金に関して、現場の方々には大変苦勞をお掛けした。手続きはかなり進んだが、90.1%というのは、申込件数のうちの9割なのか、全体の9割なのか。

総務局長：全体の9割である。

市長：申請期限は8月17日（月）までであることを周知徹底していくこと。

市長：本日の県の対策会議で方針が大幅に変更されれば臨機応変に対応するが、一旦はこ

の取組状況とすることを確認しておく。冒頭のリード文に関しては、県の対処方針の変更を受け、もう少し危機感を募らせた表現になるかもしれないが、この部分は危機管理安全局にお願いする。

(4) 兵庫県コロナ追跡システムの活用について (資料4)

市長：兵庫県のコロナ追跡システムについて、尼崎市で実施するイベント等については、このシステムの活用を条件とすることを明確にしていく余地があると思う。気を付けないといけないことは、イベント参加者や施設の利用者全ての人がスマートフォンを持っているわけではないことである。また、これまでアナログで名簿の管理をしっかりと行い、管理が行き届いていたのに、このシステムを導入したが故に、名簿管理を疎かにしてしまうと全体の対策が緩くなってしまうことも懸念される。資料4によると、各施設には導入することになっているようだが、文化財収蔵庫はどうか？

教育次長：文化財収蔵庫は現在休館中であるが、開館時は導入予定で準備を進めている。

市長：市民課など窓口職場に関して、他都市の状況はどうか？

資産統括局長：兵庫県庁では棟ごとにシステムを導入しており、かつ窓口職場ごとにも導入していると聞いている。当市においては、フロア単位での導入を考えている。どういう形で導入するのか、危機管理安全局と調整しながら、関係部局と横申しで対応したい。

健康福祉局長：当局も公共施設に関しては導入を検討しているが、保護の申請・相談など、個人情報を抱える方などが来られ、かつ三密でもない場所に導入するのか、悩んでいる。

市長：このシステムは、事業者や設置者に情報は集まるのか？

危機管理安全局長：集まらない。

健康福祉局長：基本的には1対1でビニールシート越しに対応しているので、クラスターが発生するのかと疑問に思う。

市長：同じ市役所の中で導入するフロア・しないフロアがあるのはどうかと思う。

健康福祉局長：本庁で行うのであれば、南北保健福祉センターや保健所でも行ったほうが

良いと考えている。

市長：今回は、導入するタイミングと考え方を統一するという整理にしておく。

ほとんどの施設で名簿も併用されるため、大丈夫だとは思いますが、このシステムが入るから名簿管理を止めるのであれば、問題がないか確認をすること。

このシステムは本人の安心のためでもあるが、保健所も導入するのか？

医務監：活用を考えている。

市長：感染を0にするのは難しい。確認された感染に対して、次に広げないことが大切であり、そのためにできることをやろうという一環である。全庁で統一的な取扱いとしたほうが良いと思うため、取りまとめの局を決めてほしい。

危機管理安全局長：危機管理安全局で預かり、より現場に近い課長級で構成される新型コロナウイルス感染症対策連絡会議で調整をしたい。

市長：大方針を決め、矛盾の生じないように、統一的な考え方で進めてほしい。

2 新型コロナウイルス感染症対応における相談内容について

(1) 各部局の相談内容等の概要について（資料5）

健康福祉局長：社会福祉協議会が行う総合支援資金の貸付期間が3か月から6か月まで延長された。それに伴い、しごと・くらしサポートセンターの支援を受けることが必須要件とされたため、7月中旬以降、貸付延長の希望者からの新規・継続相談の件数の増加が見込まれる。

市長：新型コロナウイルス総合支援担当が作成した別紙1「新型コロナウイルスによる社会経済情勢等への影響について（R2.7月）」もご覧いただきたいが、こういった状況も踏まえて、補正予算に反映させる事業を固めていくことになる。何が正解か分からない中で、スピードを求められつつ取り組みを進めていくのであるが、議会からはこのようなバックデータを基にした判断なのかという質問もいただいている。来週からは委員会審査も始まり、このような情勢や状況をしっかりと共有をしておくべきだと思う。

総合政策局長：地方創生臨時交付金に関して、41億円の配当が決定している。来週から始まる7月臨時会においては、7号補正で約26億円の充当が決まっている。残り15億円に対しては、各局から33億円の要求が来ているという状況である。

市長：社会福祉協議会に外国人からも貸付の申し込みが多くあるが、外国人と市とは繋がりが強くないと感じている。社会福祉協議会に相談に来られたら、市にも情報をいただき、繋がりを作れるような仕組みを作りたい。

3 その他

市長：兵庫県の対処方針（7月17日改定）に関して、以前との変更点はどうか？

危機管理安全局長：主なところでは兵庫県の感染者数1週間平均10人を超え、感染警戒期に移行したことから、7月末までに650床程度の病床を確保するということや、重症対応50床、中軽症対応250床の病床体制を早急に構築するとの記載がある。

また、自粛要請という項目が追加されているが、特措法上の45条ではなく24条に基づき、お願いレベルでの自粛要請となっている。内容は、ガイドラインに基づく感染防止対策が取られていない飲食店や施設への出入りの自粛の要請である。

市長：いずれにせよ、警戒レベルを引き上げるという兵庫県の判断である。本市においても緊張感をもって取り組みを進めていく。

医務監：カラオケやナイトクラブには積極的にQRコードを配りたい。

市長：ぜひお願いします。市民の皆様には警戒をしてもらわないといけないし、休業要請や社名公表を行う段階ではないことから、それぞれで意識を高めないといけない。それを補完するためのツールをできる限り浸透させていくことが大切だと思うので、全庁で総力を挙げて進めたい。

危機管理安全局長：広報車による広報に関して、緊急事態宣言解除後は止めていたが、状況が変わってきているため放送内容を優しくめに改め、7月20日（月）から開始する。

森山副市長：知事メッセージの中で、学生をはじめとする若い方へのメッセージが今回追加

されている。

市長：「多人数での会食は自粛してください、飲食しながらの大声での会話や回し飲みは控えてください、感染防止対策を行っていない店の利用は控えてください」という内容が若い方に向けての知事メッセージである。

感染が増えてくると心が前には向かないが、気を引き締めて、あらためて皆で力を合わせて対応していきたい。以上をもって、会議を終了とする。

以 上